

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 3月 29日

仕事の内容	介護予防普及啓発事業		
担当部署・課長名	高齢介護	課 地域包括ケア推進	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書(ページ)	51	

予算名	款 4 地域支援事業費	項 1 一般介護予防事業費	目 1 一般介護予防事業費	事業 1 一般介護予防事業費
-----	-------------	---------------	---------------	----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 介護保険第1号被保険者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 介護保険第1号被保険者数(年度当初)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 要介護・要支援状態になるまでの健康時期を延ばしたい。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 65歳以上で要介護(支援)認定を受けた人数
	③ そのために何をしましたか。 介護予防教室や介護予防講演会等を実施し、介護予防の普及啓発を行った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①介護予防教室開催数・参加者延人数(平成29年度から事業の内容を変更したため、下記の平成28年度の実績は入力せず) ②介護予防講演会開催数・参加者数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,974	22,386	22,770	
	成果指標	②の数値	人	3,689	4,019	4,173	
	目 標	②の目標値				4,019	4,173
		目標値設定の考え方	心身機能の維持を図り、健康寿命の延伸を推進するため、前年度実績を目標に設定した。				
活動指標	③の数値		①- ②実施せず	①2教室(6期・84日)・849人 ②実施せず	①2教室(9期・126日)・1,193人 ②1回・120人		

3 経費	事業費(実績)		円		4,148,982	6,707,273	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円		518,623	838,410	
		特定財源	円		3,630,359	5,868,863	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人		1.5	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円		12,400,500	8,244,000		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	0	16,549,482	14,951,273		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 当事業は平成18年度からの介護保険法改正により、新たに新設された地域支援事業の介護予防事業として開始された。介護予防事業への参加やその他の介護予防を目的とした働きかけを行い、要介護状態等になることを予防することを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平均寿命の延伸などに伴い、高齢者人口は急速な増加を続けており、また、75歳以上の後期高齢者の割合が高くなっている。

仕 事 の 内 容	介護予防普及啓発事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	地域包括ケア推進	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民 等の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 「教室に参加してよかった」、「教室に通わないと、運動を続けられないので、もっと通えるようにしてほしい」、「もっと多くの人に教室を知ってほしい」等の意見が寄せられた。			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民 協働	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 なし（仕事の振り返りシートの仕事内容を平成29年度から変更したため）			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ・教室開催数を増やし、参加できる人数を増やした。 ・教室への応募が多く抽選となった場合には、初回の人を優先して抽選を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ・教室終了後の自主的な介護予防の取組が、継続されない。 ・抽選になる教室がある一方、定員が埋まらない教室もある。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・教室中から、終了後の取り組みを意識した働きかけを行う。 ・定員の埋まらない教室の周知を行う。			
8 今 後 の 方 向 性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・委託事業者と教室における働きかけについて調整を行う。 ・教室終了時に、終了後の取組みについて確認を行う。 ・定員の埋まらない教室のちらしの作成及び配布			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を向上させる。		経費 仕事の経費は維持する。